



# にじのはし幼稚園 園だより

平成27年 1月号  
港区立にじのはし幼稚園  
園長 新井智子



光

園長 新井智子

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

元旦、都心は曇り空でした。しかし、日の出を雲間に見つけようと多くの人々が眼差しを向けました。365日、変わることなく廻る太陽ですが、元旦の陽の光には特別な感情を抱きます。

2015年は、国連が定めた「国際光年」です。1015年の科学者イブン・アル・ハイサムによる光に関する研究をはじめ、1915年のアインシュタインの一般相対性理論など、光に関する幾つもの研究や発明の節目を祝して制定されたそうです。光科学は、人類の文明の発展に不可欠であり、昨年青色発光ダイオードの発明によるノーベル賞のニュースによって「光」への関心がより高まったとも言えます。

しかし、私自身正直なところ光科学と言うよりも、むしろ抒情的な見方で「光」をとらえるのが常です。幼稚園から眺める海の水面の輝き一つでも時に励まされたり、時に慰められたりします。明るさひとつで気持ちが前向きになったり沈んだりもします。希望を見出し、「頑張るぞ！」と、意欲が湧いてくる陽光が元旦ですね。年の初めにきっと子どもたちも思いを新たに、決意を抱いたことでしょう。

三学期は、それぞれの学年のまとめの時期です。にじのはし幼稚園は、本年度、「底力」を合言葉にして頑張っています。底力は、基礎基本になる物事を進める要の力です。「やろうとする意欲」「頑張る姿勢や態度」「優しさや思いやり」など、行事でも日々の遊びでも、底力に立ち返って考え、子どもたちとともに、一所懸命取り組んでいます。

『これからが これまでを 決める』 年頭にこの言葉に出会いました。三学期にふさわしい言葉です。一人一人の子どもたちが、自らの力をエネルギーにして輝き、教師は個々の良さや持ち味に光を当て、一層の輝きを引き出していく三学期。輝く場面は、それぞれに異なり、光の色もさまざまでしょう。

いきいきと輝く子どもたちを育む、園名の「虹」にふさわしく、にじのはし幼稚園が光溢れる幼稚園になるように、日々努めてまいります。



3歳 中学生との交流



4歳 「しもばしら み一つけた！」



5歳 体験給食

